

スマート農業推進フォーラム 2025 in 東海

12月18日(木)

11:00~17:00

STATION Ai

1階イベントスペース

特別企画 みんなで体験しよう！

ドローンの操作体験

AR技術を用いたドローンの操縦体験。
スマートグラスを装着し、その場でドローンを飛ばしているかのような体験が可能。



農機の操縦体験

農業シミュレーションゲームを用いた田植え機等の操作体験。自動操縦等のスマート農業技術の疑似体験も可能。



Presented by IPCSA

セミナー 13:00~16:00

【農業現場におけるスマート農業の取組事例の紹介】

- トクイテンのミニトマト自動収穫ロボットの開発とスマート農業の取り組み
豊吉 隆一郎 氏（株式会社トクイテン 代表取締役）
- ほ場条件不利地域におけるスマート農機導入による水田営農の省力化等の推進
加藤 昌亮 氏（岐阜県可茂農林事務所 農業普及課 地域支援第二係 技術課長補佐兼係長）
- 生産現場から進めるスマート農業技術の産地実装
下村 堅二 氏（西三河農業協同組合 きゅうり部会 改革プロジェクトリーダー）
西三河農業協同組合 営農部 営農企画課 技術専門員
- デンソーのスマート農業への取り組み～大規模ハウスにおける技術開発
安田 隆司 氏（株式会社デンソー フードバリューチェーン事業推進部 アグリ技術課 担当課長）

【開発供給事業の取組事例の紹介】

- かんきつの自動収穫ロボットによる収穫作業の省力化に係る研究開発
池浦 良淳 氏（国立大学法人三重大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 教授）

【農研機構からの情報提供】

- スマート農業技術導入による経営改善方策 –スマート農業実証プロジェクトの経営分析結果をもとに–
田口 光弘 氏（農研機構 農業経営戦略部 フードチェーンユニット ユニット長）

【農林水産省からの情報提供】

- 研究開発の現場ニーズを共有する取組「技術的課題」の活用について
農林水産省 大臣官房政策課 技術政策室
- 東海地域におけるスマート農業法に基づく認定状況等について
東海農政局 生産部 環境・技術課

展示会 11:00~17:00

IPCSAやスマート農業関係事業者、農業支援サービス事業者等によるブース展示

【趣旨】

スマート農業技術は、農作業の効率化・負担軽減、農業の経営管理の合理化などにより、これからの農業を支える技術です。また、化学肥料や農薬の使用量を減らすことができるなど、環境に優しい技術としても期待されています。

本フォーラムでは、東海地域におけるスマート農業技術の最先端の取組をご紹介します。

【セミナーへの参加】

東海農政局ウェブサイトからご応募ください。

https://www.contactus.maff.go.jp/j/tokai/form/seisan_kankyo/251218_sanka.html

申込期限:12月16日(火)

定員:会場参加 100名、オンライン参加 200名

希望者多数の場合は先着順となりますので、お早めにご応募ください。セミナー参加応募

※展示会のみ参加される方は、事前に応募いただく必要はありません。



【展示会への出展】

東海農政局ウェブサイトからご応募ください。

https://www.contactus.maff.go.jp/j/tokai/form/seisan_kankyo/251218_shutten.html

申込期限:11月21日(金)

定員:18区画(予定)

希望者多数の場合は先着順となりますので、お早めにご応募ください。



展示会応募



【会場・アクセス】

STATION Ai 1階イベントスペース

名古屋市昭和区鶴舞1丁目2番32号



<アクセス>

名古屋市営地下鉄・JR中央本線
鶴舞駅下車 徒歩6分

<留意事項>

専用駐車場のご用意はありませんので、公共交通機関でお越しください。
お車でお越しの際はお近くの有料駐車場のご利用をお願いします。